

## いつだって好奇心 手を伸ばせばそこに本



### みんなの読書活動

市制施行50周年を記念して「みらい懇談会提言書～夢と希望に満ちたこれからの守山」の一つに「読書日本一のまちづくり」が掲げられました。

岡市立図書館 ☎・☎(583)1639 FAX(583)6949

**質問** 起業や就職活動に役立つ本はありますか？

**答** 役立つ情報を集めた専用コーナーを設けています

市立図書館の2階エレベーター横に、起業・就労に役立つ資料を集めた専用のコーナーを設けています。

**起業支援コーナー** 会社の作り方やビジネスの探し方など、起業の手助けになる本や、事業を育てるヒントになる本があります。

**就労支援コーナー** エントリーシートや面接など採用試験対策はもちろん、転職や再就職、障害者の就労支援など、就職活動全般の本があります。さまざまな職業や資格の本もそろえているので、どんな仕事・資格があるのか知りたい人にもぴったりです。

**起業・就労支援コーナー出張所** 1階 木もれび広場の棚にあります。起業セミナーや就職イベントのチラシ・パンフレットなど、本「以外」の情報はこちら。

**ビジネスデータベース** 館内の専用パソコンで、ビジネスに役立つ情報を幅広く集約したデータベースが利用できます。



起業・就労支援コーナー

## 佐川美術館「アートコラム」

### 『自由』から始まる子ども絵画展

学芸員…佐川美術館  
上村友理



寒さが厳しい季節、皆さんは子どもの頃どのように過ごしていましたか。私はコタツで温まりながら、チラシやカレンダーの裏一面に思いつくまま自由に絵を描いていました。

今でこそ、絵は自由な表現が尊重されています。しかし、約150年前の明治時代、学校の美術教育はお手本の絵を写す「臨画」が中心でした。臨画とは模倣することで正確に描く技能を鍛える学習法で、現代では「模写」に当たります。これに異を唱え、新しい美術教育法を提唱したのが、版画家の山本鼎(1882-1946)でした。彼は、子どもたちが見聞きしたままの現実を描く「自由画」を提唱します。しかし、「ありのままを写す」という言葉にとらわれた結果、「自由画」は物事を見たまま忠実に描く「写生画」の方向へ流れてしまいました。当初の理念から離れてしまった「自由画」ですが、提唱された翌年の「第一回児童自由画展覧会(大正8年)」を皮切りに、日本各地で大小7つの「自由画公募展」が開催されるなど、社会に大きな影響を与えました。そして、この取り組みは「自由画」に続いて教育現場の主流となった「想像画」(子どもの主観を尊重し、自由に描いた絵)に引き継がれ、今も各地で子ども絵画展が開かれています。

山本の「自由画」に始まり、時代と共に発展してきた「子ども絵画展」。佐川美術館では、今冬「第14回」子ども絵画コンクール優秀作品展」を開催します。寒さも吹き飛ばす子どもたちのエネルギー溢る作品の数々を、ぜひご覧ください。

※開館情報につきましては、ホームページでご確認いただくか電話[(585)7800]でお問い合わせください。